

# 宮私幼だより

第161号 令和7年3月31日



やまもと幼稚園



## 巻頭言

理事長 鎌田文恵

穏やかに始まった令和7年。3学期は一日一日があっという間に過ぎ去り、新年度の準備を迎えます。園児は目を輝かせ進学・進級に期待を持ち、心身共に成長を見せる時期です。その一方で、宮城県内の小中学校では不登校率、いじめ認知件数も全国的にみて多いとの話を聞くと、子どもたちを取り巻く変化や課題を感じざるを得ません。幼児教育・保育を担う私たちとしても、地域から必要とされ、根差してきたことから機会があれば積極的に地域に参画頂きたいと思えます。

昨年10月18日に「一人ひとりの『こどもがまんなか』をまもる質の高い幼児教育を」と題して第38回東北地区私立幼稚園・認定こども園教員研修大会〈宮城大会〉を開催しました。開催に際し、ご参加を頂いた多くの先生方、そして長期間に亘って計画・準備を頂いた公開園の教職員や実行委員会委員の皆様、そしてご協力・ご協賛を頂いた多くの皆様に深く感謝申し上げます。本大会終了後の12月には公開園の先生方と実行委員会を開催した際に、学びのある有意義な研修大会だったとの話を多く頂き、あらためて無事に終えたことを安堵したところです。一方で、研修大会の課題として、実施方法や先生方の研修参加方法など今の時代に合った研修大会を検討する時期に来ていることを実感した次第です。

また、国における抜本的な少子化対策は未だに不透明感が続く中で、宮城県では令和3年度から令和12年度までの10年間の中期総合計画「新・宮城の将来ビジョン」の中に「社会全体で支える宮城の子ども・子育て」という政策推進の基本方針が示されています。

各園におきましては、子どもの心身の健やかな成長のための幼児教育を目指して努力しているところですが、様々な要因から園運営が厳しい状況を踏まえ、本年1月29日には、宮城県知事様及び宮城県議会議長様に「幼児教育・保育の無償化以降の月額上限の見直しと運営費補助増額」、「物価高騰対策の継続支援」、「教員の人材育成と教職員の処遇改善」、「要配慮園児支援事業費補助金の判断基準の拡大」、「全ての市町村や施設において地域格差のない取組みと子育て支援の予算と政策の充実」の要望をしております。

終わりに、コロナ禍以降社会の変化が激しい時代となり、1月に発表された令和6年の我が国の出生児数は、速報値で70万人を割り前年から大きく減少していることに衝撃を覚えます。このような中で東京では一極集中が進んでおり、人口減少の進む地方から声を上げるとともに、今の時代、これからの時代へ向けた動きを確実に進め、会員園のための持続可能な連合会の運営を模索したいと思いますので、来る令和7年度も会員園の皆様のご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



**令和6年度 宮私幼理事会の概要（10月～3月）**

**【令和6年度 第5回理事会】**

日時 令和6年11月25日(月) 午後2時～

場所 宮私幼会議室

**議事**

- (1) 研修担当園ローテーション・アンケートについて
- (2) 第38回教研大会について
  - ①大会参加者数、②大会収支決算見込み、③大会アンケート概要
- (3) 令和7年度知事・県議会議長への要望について(令和7年1月29日(水)15時～)
- (4) その他

**報告事項**

- (1) 顧問 村山十五先生(前宮私幼連合会理事長、元南光シオン幼稚園園長)の瑞宝双光章の受賞について
- (2) 「睦幼稚園」(多賀城市)、「登米幼稚園」(登米市)の廃園について

**【令和6年度 第6回理事会】**

日時 令和7年2月20日(木) 午後2時～

場所 宮私幼会議室

**議事**

- (1) 令和6年度 第2回定時総会議案書について
- (2) 三部会からの提言について
- (3) 宮私幼事務局職員の人事労務に関する規則の改正について
- (4) 「退職手当資金給付事業運営規則」の改定について
- (5) その他

**報告事項**

- (1) 第2回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について
- (2) 「定款第24条第5項に基づく、各委員長等職務執行状況報告」について
- (3) 令和6年度「行政報告」及び「設置者・園長研修会」について
- (4) 宮城県総合教育センターとの「令和7年度の研修事業に係る連携及び協力に関する覚書」について
- (5) 宮城県知事及び議長陳情について(1月29日午後3時～)
- (6) 「千手寺幼稚園」の休園について
- (7) 就職内定学生実習期間の傷害保険の申し込み状況について
- (8) 「ネットヨタ大阪(株)」の寄付金に係る団体の推薦について(和光幼稚園)
- (9) キャリアアップ研修受講証明書の廃止について(ホームページに掲載)

**その他**

今後の日程について

- 5/29(木)13:30～ 令和7年度 第1回定時総会  
(東京エレクトロンホール宮城 601会議室)

**事務局だより**

**令和6年度 下半期（10月～3月）**

○関係機関団体

- 1/8 第37回 仙台市私立幼稚園教員研修大会
- 1/15 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

○全日私幼連

- 10/17 東北地区会運営委員会
- 10/18 第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会<宮城大会>
- 10/24 団体長会・理事会合同会議(オンライン)
- 10/28～29 設置者・園長全国研修大会(奈良)
- 11/15 東北地区経営研究担当者連絡協議会 政策総務担当者連絡協議会(山形)
- 12/10 団体長会・理事会合同会議(東京)
- 1/20 全国教育研究担当者会議(東京)
- 1/21 政令指定都市特別委員会(東京)
- 2/14 団体長会議・第2回地区会及び事務局長会議・PTA連合会東北地区連絡協議会(山形)
- 2/17 全日本私立幼稚園PTA連合会懇談会・全国大会(東京)
- 2/28 第15回都道府県政策担当者会議(東京)

○宮私幼のあゆみ

- 10/3 第38回東北地区教員研修大会実行委員会
- 10/10 総務・給付委員会
- 11/21 研究委員会
- 11/14 総務・給付委員会
- 11/25 理事会
- 11/25 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同会議
- 11/29～12/1 宮城県造形教育作品展(TFUギャラリーミニモリ)
- 12/5 第38回東北地区教員研修大会実行委員・公開園合同会議
- 12/12 経営委員会
- 12/12 総務・給付委員会
- 12/19 研究委員会
- 12/19 常任理事会
- 1/9 総務・給付委員会
- 1/16 研究委員会
- 1/23 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同会議
- 1/29 知事・議長陳情
- 1/30 研究研修担当地区説明会
- 2/6 経営委員会
- 2/12 研究委員会
- 2/13 総務・給付委員会
- 2/18 常任理事会
- 2/20 理事会
- 3/6 研究委員会
- 3/10 設置者・園長研修会(東京エレクトロンホール宮城)
- 3/10 第2回定時総会(東京エレクトロンホール宮城)
- 3/13 総務・給付委員会

# 令和6年度 設置者・園長研修会

日時 令和7年3月10日(月) 会場 東京エレクトロンホール宮城 601会議室

鎌田文惠理事長の挨拶の後、「私立学校法の改正等について」の行政報告と、「こども政策の動向について」の講演が行われました。

## 行政報告

### 「私立学校法の改正等について」

宮城県総務部私学・公益法人課  
私立学校班主任主査 佐々木健人氏

令和7年4月1日から施行される改正私立学校法の注意点を解説していただきました。(以下抜粋で記述します。)

- 改正私立学校法における理事会、評議員会の開催方法及び招集方法は「まず理事会 1 週間前までに、理事と監事に通知を发出すること」「評議員会を招集するには、招集についての理事会の開催と決議が必須なこと」「原則、理事会→評議員会の順に開催がなされること」また「監事は理事会及び評議員会に出席し、議事録に署名を行うこと」が、現行法との相違である。
- 議案が評議員への意見聴取事項（資産や借財、予算や事業計画、収益事業等）か、評議員会の決議事項（私立学校法第23条第1項第1～3号及び第5～15号による寄付行為の変更等）かの違いにより、理事会の開催回数異なる。
- 改正法施行以降となる令和7年度定時評議員会の開催は「役員・評議員の選任」と「決算・事業報告」の議案となるが、理事会と評議員会が同日開催できない事や、各会に課せられる承認・選任・諮問・監査等の必要から各会複数回開催となる。
- その他、令和7年度新規事業の医療的ケア看護職員配置事業と、継続事業となった要配慮園児支援教育教育費補助について報告された。

## 講演

### 「こども政策の動向について」

こども家庭庁成育局  
成育基盤企画課専門官 本多 真行氏

こども家庭庁の今後の方針と、施策について教えていただきました。(以下抜粋で記述します。)

- 子どもを取り巻く状況等は、出生数は2023年 727,288 人

(1973年以降ずっと減少し続けている)で、未婚者の結婚希望と希望こども数の減少、共働き世帯増加がみられている。

- その状況の中、「こども

基本法」は、子どもの権利の擁護と将来にわたる幸福な生活の実現を目的とし、こども政策を総合的に推進する為まとめられた(令和4年6月法律第77号)。法中に「こども大綱」を定めることが規定され、少子化対策、育成支援、貧困対策を束ねた施策方針となっている。中でも「はじめの100か月の育ちビジョン」として幼児期の重要性は詳しく掲げられ、関連施策を多岐に推進している。

- こども未来戦略については「加速化プラン」として、妊娠・出産から高等教育までの、子どもと子育て世帯の支援の拡充を目指している(児童手当、妊婦支援、こども誰でも通園制度、育児休業等支援、他)。
- 保育政策の新たな方向性は、地域のニーズに対応した質の高い保育(職員配置基準の改善等)、全ての子どもの育ちと子育て家庭の支援(こども誰でも通園制度等)、保育人材の確保(処遇改善の推進等)とテクノロジーの活用等による業務改善をあげている。
- 令和7年度から法律上制度化し、8年度から給付制度を予定している「こども誰でも通園制度」では、乳児等通園支援事業や乳児等のための支援給付を規定し、6ヶ月～満3歳未満児の未就園児が、月10時間を上限として補助を受けて利用できる乳児等通園支援事業である。保護者の就労要件は問わずに、事業を行う施設を利用でき、「すべての子どもの育ちを応援すること」を目的とした制度とされる。(現行の一時預かり事業は、保護者の為に預かるという考え方が基本。)
- その他、保育人材確保のための新規資格取得支援や、こども園に於ける幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方の免許・資格の未取得者の特例期間延長や、幼保連携型認定こども園の保育要領等の改訂の考え方を述べられた。

行政報告をされた佐々木氏と講演講師の本多氏に、庄司昭博副理事長がお礼を述べ、設置者・園長研修会を終えました。



# 令和6年度 宮私幼第2回総会

令和7年3月10日（月）午後1時30分～ 東京エレクトロンホール宮城601会議室

【司会 清野英俊 総務・給付委員長】

- 1. 開会のことば 根来 興宜 副理事長
- 2. 「幼稚園賛歌」 斉唱  
指揮 庄子真由美先生（泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園園長）
- 3. 理事長挨拶 鎌田 文恵 理事長



## 報告事項

村山十五 前 宮私幼理事長（元南光シオン幼稚園長）  
瑞宝双光章受章

## 4. 来賓祝辞



- ①宮城県総務部副参事 長田 晃明 様
- ②宮私幼PTA連合会会長  
宮城県県議会議員 佐々木幸士 様

## 報告事項

令和7年度の研修関係について  
宮城県総合教育センター教職研修班  
主任主査 山本 誠子 先生

## 5. 議長選出

すがわら幼稚園 菅原 彰先生（太白地区）  
石巻みづほ幼稚園 阿部 弘子先生（石巻地区）

## 6. 議事録署名人の選出

あけぼの幼稚園 島谷 京子先生（宮城野地区）  
岩沼さくら幼稚園 檀崎 真扶先生（名取・岩沼地区）

## 7. 議事

第1号議案 令和6年度一般会計収支補正予算(案)  
及び退職手当資金給付事業特別会計収支補正予算  
(案)について

第2号議案 令和7年度事業計画(案)について

第3号議案 令和7年度一般会計収支予算(案)及び退  
職手当資金給付事業特別会計収支予算(案)について

いくつかの質疑応答がありましたが、全て原案どおり  
決定されました。

## 8. 報告事項

- (1) 宮城県総合教育センターとの研修事業に係る連携について
- (2) 宮城県知事及び議長陳情について
- (3) 「千手寺幼稚園」（大崎市）の休園について

## 9. その他

- (1) 令和8年度園児募集の日程等について  
原則として願書配布 10月1日（水）～  
願書受付 11月1日（土）～（従来通り）

## 10. 「花のおさなご」 斉唱

指揮 庄子真由美先生（泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園園長）

## 11. 閉会のことば 庄司 昭博 副理事長



## 幼稚園訪問記

## 幼な子とともに

## やまもと幼稚園

を訪問しました!!



園長 檀崎真扶先生

令和7年1月16日(木)、やまもと幼稚園を訪問し、園長(理事長)の檀崎真扶先生と副園長の佐藤和枝先生より、こども園化に向けて取り組まれているご苦労や、前園長先生方が作られ積み重ねてきた園の伝統や特質、地元山元町との協力関係、地域を支える人材育成としての幼児教育への思い、系列園である岩沼さくら幼稚園との違い等について詳しくお話を聞かせていただきました。地元山元町の子育て支援・移住政策と密接につながる今回のこども園化は、園長先生が熱い思いを持ってエネルギーに突き進み、副園長先生が細かい部分をしっかり支えているお二方の絶妙なコンビネーションによって行われていることを強く感じました。現在改修の真只中であり、園庭に仮園舎を建てられての工事・作業の様子も見せて頂き、将来地域を支える子どもたちが過ごす姿を心に描きながら、非常に楽しみにされている様子が窺えました。被災した地域の再興を目指し、その根本は幼児教育にあるという信念に基づいて園経営をされているお二人の周りには、子どもたちの笑顔と元気な声があふれていました。プレハブ園舎の不便さの中にも、大きな希望がこぼれんばかりの幼稚園でした。



## 1. 概要

1973年(昭和48年)に系列園岩沼さくら幼稚園開園の7年後に開園。山下小学校の高瀬分校だった場所に、山元町にもぜひ幼稚園をと請われ、園長先生の祖父母様が引き受けました。

現在は施設給付型幼稚園ですが、令和7年4月より幼保連携型こども園に移行予定。

## 学校法人 山元中央学園 やまもと幼稚園

〒989-2202 亶理郡山元町高瀬字竹の内原 41  
園児数 62名(4クラス) 教職員 14名  
(満3歳児11名、3歳児15名、4歳児17名、5歳児19名)

## 2. 教育・保育目標

「挨拶・素直・感謝・笑顔・元気」  
「生きる力」を育む保育

## 3. 特色

昔ながらの設定保育を行っていますが、現場の先生のアレンジにまかせています。小学校との接続を意識し、子どもたちが自立して生活できる基礎力を身に付けられるように、丁寧に関わっています。



## 4. 保育時間・預かり保育等

月～金	8時30分～14時00分
早朝保育	7時30分～8時30分
預かり保育	14時00分～18時30分

## 5. 給食

学期ごとに、給食もしくはお弁当持参の二択。  
現在は業者搬入ですが、4月より自園給食開始。

## 6. 未就園児教室

現在は「やまもとキッズクラブ」として月に一度開催しています。

4月からは地域の子育て支援事業として、毎週、月水金開催予定。

## 7. バス送迎

大小2台のバスを運行しています。園児の3分の2がバス通園です。



## 宮城県知事・宮城県議会議長への陳情

1月29日（水）、村井嘉浩宮城県知事と高橋伸二宮城県議会議長を表敬訪問し、それぞれに要望書を手渡しました。陳情には、宮私幼より鎌田文惠理事長他6名、宮私幼P T Aより佐々木幸士会長他9名と園児3名が同行し、和やかな雰囲気で行われました。要望書について、知事より前向きのお答えをいただきました。

**要望1**：私立学校運営にかかる補助金について、継続した支援を要望します。

**要望2**：物価高騰対策に関する支援の継続を要望します。

**要望3**：私立幼稚園・認定こども園における教員の人材育成及び教員等の処遇改善を要望します。

**要望4**：子どもたち一人一人の健やかな成長を見据え、特別な配慮を必要とする幼児の増加に伴うきめ細やかな支援を要望します。

**要望5**：施設類型にかかわらず、すべての市町村において格差のない取組を進めることを要望します。



村井知事への要望



高橋議長への要望

## 村山十五先生に感謝

宮城県私立幼稚園連合会理事長を務めていただきました村山十五先生が、3月12日にお亡くなりになりました。

村山先生は、昭和22年5月5日に仙台市に生まれ、大学を卒業後、昭和45年4月に学校法人村山学園南光幼稚園に事務長として就職し、その後南光シオン幼稚園園長、南光幼稚園園長など6つの園と1つの保育園の学校法人村山学園とおおとり学園の理事長、学園長として運営し、障がい児の受け入れや地域に根差した幼稚園・保育園として子育て支援にも力を入れるとともに、幼児教育の向上を目指しながら、常に幼児教育に真摯に取り組んでこられました。

村山先生は、自園のみだけでなく、平成6年5月からは宮私幼の理事に就任し、平成12年9月には第6代理事長として、26年の長きに亘り私立幼稚園を牽引するとともに、子どもを指導してくださいました。

このほかにも全日本私立幼稚園連合会副会長、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事、東北地区会長、仙台市私立幼稚園連合会副会長なども務められ、全国の私立幼稚園をまとめ私学振興に携わり、私学の教育と発展に献身的に尽くし、幼児教育に生涯を捧げてこられました。

村山先生は、これらの功績が評価され、昨年11月3日に「瑞宝双光章」を受賞されました。そのお祝いを家族で行ったときに村山先生からお孫さんに誕生日プレゼントを渡す場面があり、嬉しそうに、はにかみながらお礼をするお孫さんの様子を見て「こういう嬉しいことがあるんだよなあ」とポロリとつぶやいたそうです。子どもが大好きな先生はまだまだ家族とも一緒に過ごしたかったらと思う、とても残念でなりません。ご冥福をお祈り申し上げます。

理事長 鎌田文惠